

地域を
発酵する

SOCIAL ART

佐賀大学芸術地域デザイン学部共催企画

九州大学ソーシャルアートラボ

ソーシャルアートカフェ vol.4

Café vol.4

／地域で発酵するアート

photo:Ryoichi Tsutsumi

2017.1.22(SUN)

13:15 open / 13:30 start

会場：CASASAGA (JR 佐賀駅北口より徒歩 10 分)

参加無料 (定員 20 名) 申込み締め切り 1 月 18 日 (水)

【主催】九州大学大学院芸術工学研究院ソーシャルアートラボ

【共催】佐賀大学芸術地域デザイン学部

【後援】日本アートマネジメント学会九州部会

【助成】平成 28 年度 文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業

九州大学大学院芸術工学研究院ソーシャルアートラボは、地域をひらく芸術文化活動を実践している方をお招きし、その取り組みとノウハウを共有しながらネットワークを形成することを目指して「ソーシャルアートカフェ」を実施しています。今年度 4 回目となるソーシャルアートカフェは、佐賀大学芸術地域デザイン学部との共催で、福岡県外編として開催いたします。

キーワードは「地域を発酵する／地域で発酵するアート」。全国各地でアートが地域を活性化する起爆剤として活用されることが増えています。しかし、アートの役割は地域に短期的な経済効果をもたらすことだけではないはずです。地域とアートはどのような関係を築いていくとよいのでしょうか？

時間をかけて地域とともに発酵していくアートのあり方、またアートとともに発酵していく地域のあり方について語り合います。

プログラム

イントロダクション（九州大学ソーシャルアートラボ）

ケーススタディ I. 花田伸一 II. 梅木誠太郎 III. 塩月悠

クロストーク

ディスカッション

ソーシャルアートカフェ終了後、同じ会場で懇親会を行います。

参加費：500 円（当日支払い） 要申込み

講師



花田伸一

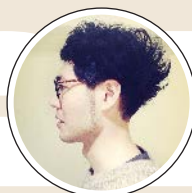
はなだ・しんいち Hanada Shinichi / キュレーター、佐賀大学芸術地域デザイン学部准教授、佐賀市在住
1972 年福岡市生。北九州市立美術館学芸員、フリーランスを経て 2016 年より現職。主な企画「6th 北九州ビエンナーレ〜ことのはじまり」（2001）、「千草ホテル中庭 PROJECT」（2008-15）、「ながさきアートの苗プロジェクト 2010 in 伊王島」、「街じゅうアート in 北九州 2012 ART FOR SHARE」、「ちくごアートファーム計画」（2014、15）。主な企画協力「第 5 回福岡アジア美術トリエンナーレ 2014」「釜山ビエンナーレ 2014 特別展アジア・キュレトリアル」。タイ、ラオス、カンボジア、ベトナム、韓国で美術調査（2009-12）。共著『Art Guide to Asia』（国際交流基金、2009）他。



梅木誠太郎

うめき・せいたろう Umeki Seitaro / 編集者

1975 年、長崎市出身。熊本大学文学部哲学科卒業後、2 年間のフリーター生活を経て、2000 年に佐賀新聞社入社。報道記者や記事レイアウトを担当した後、佐賀新聞文化センターに移籍し月刊フリーマガジン「モテモテさが」の創刊編集長を務める。プライベートでは、音楽イベントや演劇、陶磁器デザイナーのアーカイブ及び展覧会の企画を担当。2016 年 2 月には福岡・赤坂で 1 カ月限定のトークメインのおでん屋さん「駄話や埋め木」を開店。同年、佐賀市で行われた「岩井優まわりだす。」展、「日暮れ、年の瀬、火の車 ... 山田脩二の会」展を企画した。



塩月悠

しおつき・ゆう Shiozaki Yu / 大学講師、美術家
1982 年宮崎県生。現在、長崎純心大学児童保育学科講師、長崎純心大学付属純心幼稚園絵画指導講師。主な個展に、2015 年の「エポケー」（福岡市 / ギャラリーおいし）、2016 年の「塩月悠作品展」（日本橋三越本店）などがある。また、2011 年に第 65 回記念二紀展優賞（第二席）、2013 年に第 67 回二紀展損保ジャパン美術財団奨励賞、2016 年に第 8 回絹谷幸二賞（推薦）を受賞するなど、多数の受賞歴がある。現在は、3/22（サンガツニジュウニニチ）という名前でも活動中。二紀会準会員。



中村美亜

なかむら・みあ Nakamura Mia / 九州大学大学院芸術工学研究院准教授

専門は芸術社会学。エンパワメントや社会環境の変容を促すアート実践の研究を行っている。東京芸術大学卒業後、米国ミシガン大学大学院などで音楽学と文化研究を学ぶ。学術博士（東京芸術大学）。著書に『音楽をひらくーアート・ケア・文化のトリロジー』（水声社、2013 年）など。ジェンダーやセクシュリティに関する著作も多い。ソーシャルアートラボ副ラボ長。

アクセス



CASASAGA

住所：佐賀市神野東 4-4-8 （JR 佐賀駅北口より徒歩 10 分）

駐車場：なし ※JR 佐賀駅近隣の有料駐車場をご利用ください



申込み・問い合わせ先

九州大学ソーシャルアートラボ TEL/FAX：092-553-4552 E-mail：sal@design.kyushu-u.ac.jp

下記の項目を記載のうえ、メール・FAX のいずれかよりお申し込みください。

《記載事項》①氏名（フリガナ）②電話番号 ③メールアドレス ④ご所属

ソーシャルアートラボは、社会の課題にコミットし、人間どうしの新しいつながりを生み出す芸術実践を「ソーシャルアート」と捉え、その研究・教育・実践・提言を通じて、新しい「生」の価値を提示していくことを目的とします。なお、ここでは「アート」を美術分野に限定せず、広義の芸術を示す総称として用い、作品という側面だけでなく実践的側面も重視しながら、環境デザイン、テクノロジー、マネジメントの観点からの総合的アプローチを試みます。